福島県立須賀川支援学校　地域支援センター

平成２９年１１月１７日（金）発行　　第２８号

福島県立須賀川支援学校

通　信

tel：０２４８－７６－２５１１　fax：０２４８－７２－４７２９

ホームページ　<http://www.sukagawa-sh.fｃs.ed.jp>

**『心に寄り添って、真摯に向き合って』　　 　校長　鹿目　敦子**

私たちの学校では、心身の病気をかかえた子供たちが学んでいます。

病気はまず、ネガティブな体験として始まることがほとんどです。希望が見えず、目の前の治療を受けていくしかない状況にあることもまれではありません。こういった中で、子供たちは自己評価が下がったり自己に否定的になったりする傾向が見られます。また、家族に迷惑をかけている等の感情を持っている子もいるかもしれません。子供たちは、「自分は、他の人のようには○○○ができない」という構えを持つことが少なくありません。ちょっと課題にあたってうまくいかないと、「あ～、もうやめようかな。どうせ私は～だから」というようなあきらめの早さや努力することへの尻込み、自身のなさを示すことが多くなります。周りの大人も「まあ、今はいいか」とやり過ごすことも普通になり、この結果、なかなか自己評価が上がる機会が持てない状況にあります。

　　　　　　　　　　　　　～　支援冊子「病気の子どもの理解のために」より～

本校では、子供たち一人一人の自分らしい生き方の実現を指導の柱として取り組んでいます。そのために、私たちは、子供たちに成功体験をさせ自信を持てるようにしたいと思い、日々、悩みながら指導に当たっています。スモールステップで少しずつ成功体験を積み重ねていく、子供の心に寄り添って適切な励ましを与えこのくらいならできそうだという気持ちを育てる、環境調整をして落ち着いて挑戦できるように準備するなど、「できそうだ」という期待感を高めるよう努めています。一人一人が夢をもちその夢を叶えようとする原動力となるのは、子供たち自身の心が動くこと。私たちは、心を研ぎ澄まし真摯に子供自身の思いにまっすぐに向き合うことでしか進むことができないと感じています。



現在まで地域支援センター「きらり」では、以下のような取組を行ってきました。地域の皆様に地域支援センター「きらり」を御活用して頂いています。今後もお気軽にお電話を頂き、お子さんのことについて一緒に考えていきましょう。

“すべての子どもたちが笑顔で生活できるように”

通年　○教育相談（本校に来校して頂いての相談・相手校に訪問させて頂いての相談）：計９７件

（１１月１７日現在）

６月　○教育相談週間：１１件

☆今年は、学校説明会の後に相談週間を設けることで数多くの保護者様、先生方、関係機関の方々からの申し込みを頂きました。子どもさんへの関わり方について、今後の進路について一緒にお話しさせて頂きました。

８月　○地域及び本校の教職員を対象にした「きらりセミナー」の開催（裏ページ参照）

お気軽にお問い合わせください。

**０２４８－７６－２５１１**

センター的機能に関する報告







**新学習指導要領　特別支援教育のポイント**　本年3月に公示された小･中学校の学習指導

要領の改訂では、「特別な支援を必要とする児童

生徒への指導」として、以下の内容が明記されま

した。

**◎各教科における配慮を行うこと**

**◎特別支援学級や通級による指導において実施する特別の教育課程において“自立活動”を取り入れること**

**◎個別の教育支援計画を作成し、効果的に活用すること**

特別支援学校の学習指導要領も知的障害特別支援学校の各教科の目標及び内容に関する記述が大幅に増えました。通常の学校の教育と連続性のあるものとして位置づけられました。

**おすすめの本**

子ども達の「よいところ」「得意な

ところ」「でききるところ」など**ポジティ**

**ブ**な面に注目し、そこを出発点に進

める指導や支援の実践的な方法が書かれている本です。かわいい挿絵が多く使われているため、

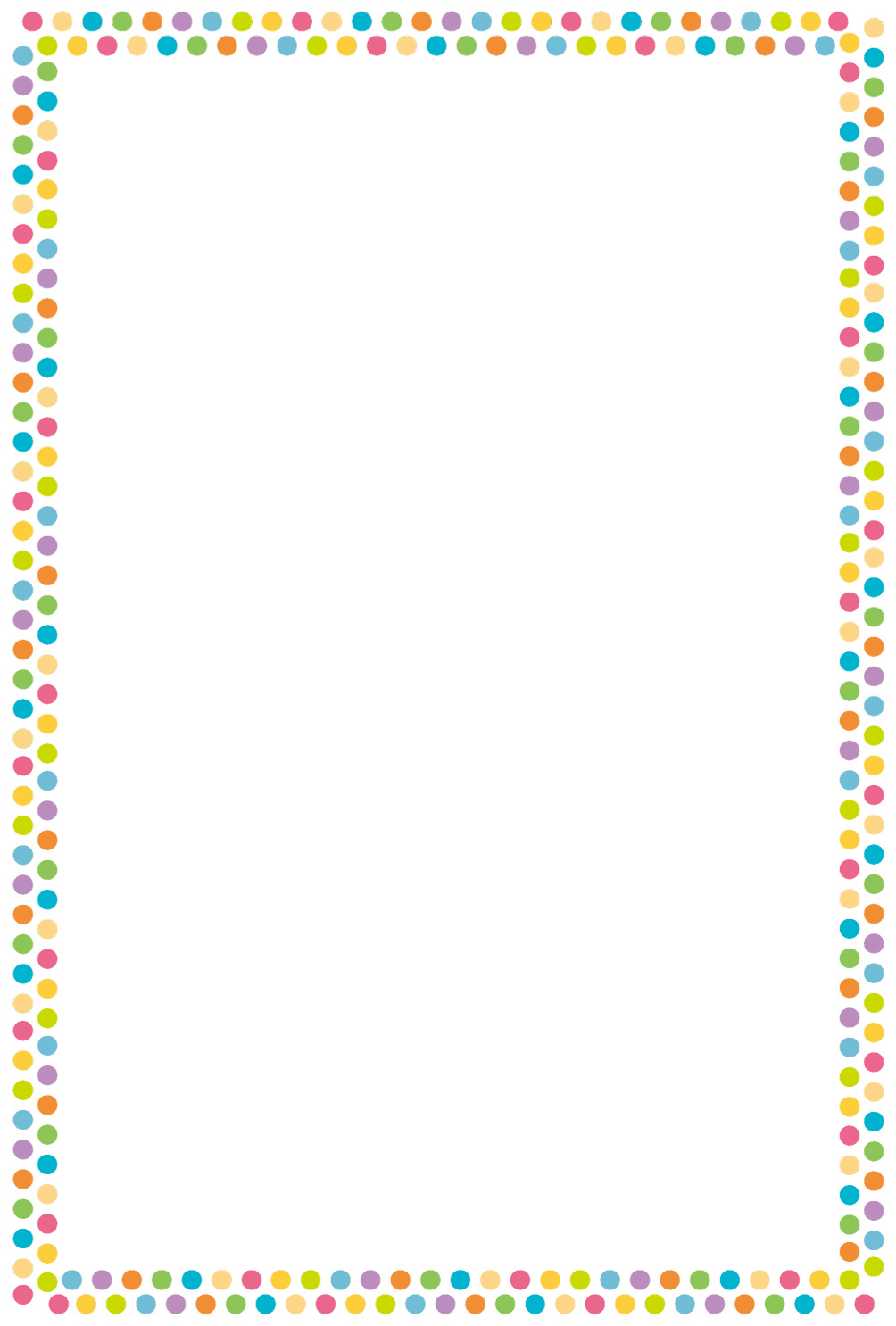
とても分かりやすく、読み進めやすいです。

「できないこと」をどうしようと考えるのはなく、まず子どもの「できる！」ことを見つけ、のばすことを徹底させようという筆者の思いにとても共感しました。

書　　名：『できる！をのばす行動と学習の支援』

著　 者：山本淳一　　池田聡子

出版社：日本標準







***～きらりセミナーの一コマより～***

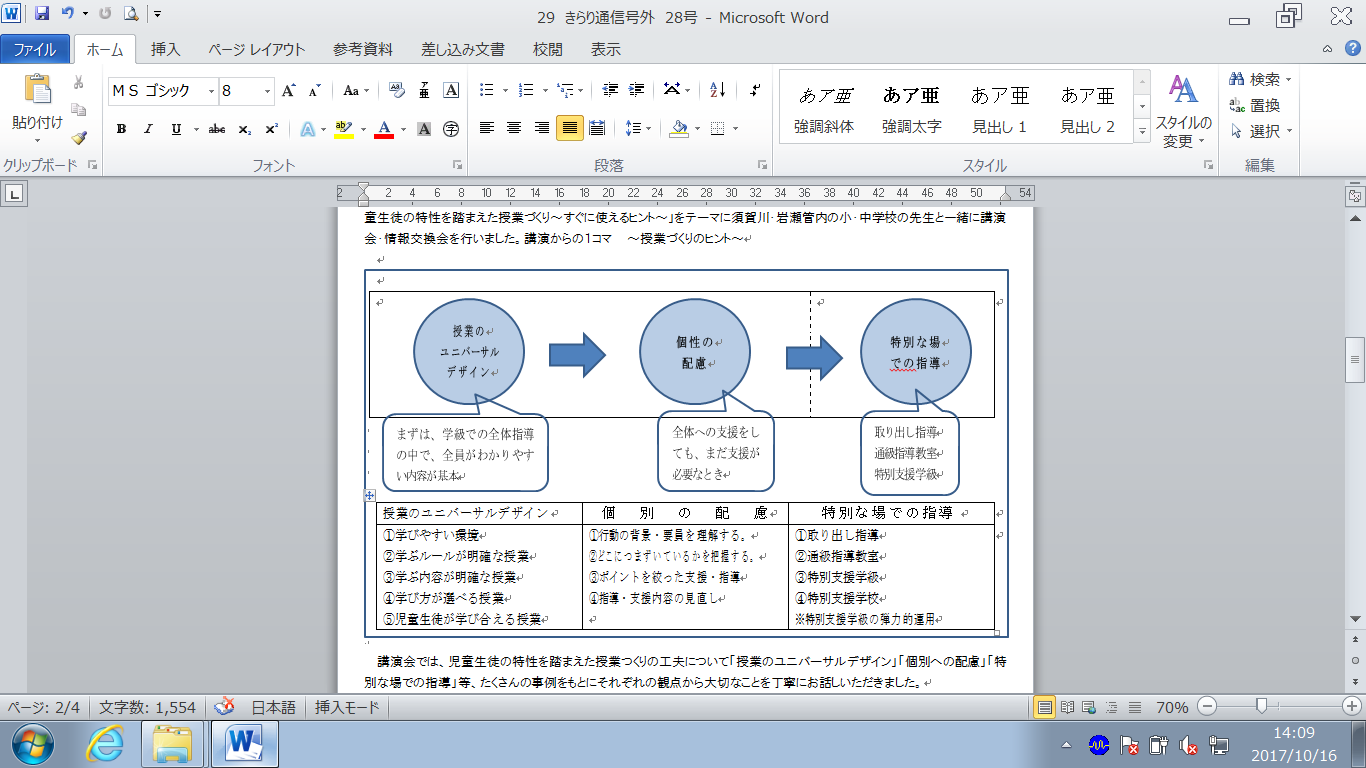
　　　講師に福島県特別支援教育センター指導主事の渡部和幸先生をお招きして、「児童生徒の特性を踏まえた

授業づくり～すぐに使えるヒント～」をテーマに須賀川・岩瀬管内の小・中学校の先生と一緒に行いました講演会・

情報交換会の一コマです。

　　 講演会では、児童生徒の特性を踏まえた授業つくりの工夫について「授業のユニバーサルデザイン」「個別へ

の配慮」「特別な場での指導」等、たくさんの事例をもとにお話しいただきました。情報交換会では、現場で抱えて

いる悩みや課題に対して、グループごとに

意見を出し合い、課題解決に向けたきっか

けをつかむことのできる機会となりました。

参加された先生方からは、「通常の学級の

中にいる支援の必要な子どもたちに対して、

今後実践してみようというお話がたくさん聞

くことができて良かった。また、周りの子ども

たちも巻き込んで、特性を理解することが大

切だと知りました。」などの感想が寄せられま

した。

今後も地域の先生方と共に悩み、支援方

法などについて活発な意見を交わしつつ、

授業改善に努めたいと思います。

（文責　地域支援センターＣＤ　滝沢昌彦）